

介護の現場に春は果たして

昨年の年頭のご挨拶では「介護の現場に春を」というタイトルで度重なる介護報酬減による、人手不足と運営難について触れました。松樹会ではその中、昨年の4月には介護職員の処遇改善（給与改善等）を先んじて行いました。その後、秋には国もようやく動き出し、交付金という形で各事業所に交付されることとなりました。当法人も、この交付金制度を活用し介護職員の更なる処遇改善を行いながら、将来の不安なく働くことができる職場作りを目指して取り組んで参りたいと思います。

さて、昨年1年間の各施設を振り返りますと、つくしんぼ長尾は、施設として環境改善、基準見直しを図り、ケアハウスとしての生活が充実したものに感じていただけるよう、病院・各事業所と連携を図ることに努めて参りました。

つくしんぼ・たんぼぼ藤阪では、年々重度化されるご入居者の状態と向き合いながら、介護付施設・認知症対応型ホームとしての果たすべき役割を自覚し、皆さまより「昨年以上に

サービス内容が良くなった」と思って頂けるよう今年も努めて参りたいと存じます。

いこいの里では、ご入居者が入院に至るケースも多くあり、身体の状態に合わせた施設サービスの提供に努めて参りました。また、医療と福祉の連携が今後ますます必要となりますが、一人一人のご様子に合わせたサービス提供に努めたいと思います。

本年も、松樹会4施設の利用者様が一人でも多くの笑顔が見られるような努力をして参ります。各施設代表者が合わせまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



特養いこいの里 施設長 中村 敏子

つくしんぼ・たんぼぼ藤阪 施設長 梶河 英司

つくしんぼ長尾 施設長 三枝 悟

デイサービスセンターいこいの里 平成21年を振り返り

生活相談員 浅川 和子

デイいこいの里では平成21年3月に定員を10名から15名に増やし、小規模デイの特徴を活かしながら、通所サービスの提供に努めて参りました。以降、日々多くの方にご利用を頂けていますが、私たちが提供してきたサービスは、利用者様にとってより良い内容になっていたのでしょうか。

そこで、平成21年度の上半期を終えた11月に利用者様とご家族様に向けて、アンケートを実施しました。アンケートの結果「職員の対応が元気で良い」「小人数で過ごしやすい」

など概ね好評価をいただくことができました。こうした利用者様やご家族様からの声は、私たちの行ってきたサービスの自信にもなりまた、新たな目標にもなりました。今後、バイキングランチや鍋物など、みんなで食事する楽しみを取り戻せるような取り組みや、指先のトレーニングの一つとして始めた小物作りや作品展示会を催し、一人ひとりのやりがい作りにも取り組んでまいりたいと思います。

平成21年度 法人忘年会を開催しました

親和会 会長 菅野 香生

12月11日(金)に守口ロイヤルパインズホテルにて法人忘年会を開催しました。参加した職員が300人を超える大人数となり盛大に行うことができました。今年度の忘年会は昨年度と同様2部構成で行い、1部では理事長のあいさつに始まり、各施設の活動をスライドショーで1年間を振り返り、2部では職員全員が楽しめるような企画をしました。

新入職員の出し物も、仮装からダンス・演武と色々な趣向を取りそろえた企画を上げてもらい、練習も重ねながら精一杯披露してもらいました。このように大人数の職員が一同に集まる機会は忘年会しかありませんが、各施設で働く職員同士が交流を持つことが出来、大いに笑い、楽しみ、騒ぎ明日への活力となった事で、親和会役員一同、とても嬉しく思っております。



忘年会 親和会 役員

各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里 072-898-2197
 デイサービスセンター いこいの里
 居宅介護支援センター つくしんぼ 072-898-2196
 つくしんぼ長尾 072-868-2190
 デイサービスセンター 長尾
 有償運送事業 (福祉タクシー) 072-868-2190
 つくしんぼ藤阪 072-868-2191
 たんぼぼ藤阪 072-868-2197

鍼灸接骨院 つくみ 072-836-8280

医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071
 地域医療相談室
 中村記念病院 072-868-2070
 なごみの里 072-868-2072
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533
 サテライトなごみの里 072-818-2071
 デイサービス長尾の里
 たんぼぼ長尾 072-868-2195
 訪問看護ステーション 072-868-2071
 訪問介護ステーション みどり 072-868-4392
 枚方市地域包括支援センター みどり 072-845-2002
 みどり保育所 072-850-7550

—— 編集後記 ——

新年明けましておめでとうございます。
 第19号は年頭にあたり、理事長はじめ両法人各施設の責任者から御挨拶させていただき新年号となりました。医療分野も政権交代により前政権から続いていた社会保障費用の2,200億円削減が廃止され、今年度は4月の診療報酬改定の動きも踏まえて「医療、介護の復権」が実現されようとしています。そういった意味においても、更なる医療、介護、福祉、健康の分野で質の向上に努めていくことが重要だと考えております。
 発行6年目を迎える季刊誌「みどりの風」を本年もよろしくお願い申し上げます。

みどりの風発行委員会
 連絡先 ☎072-868-2071
 法人本部 松田

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
 URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

編集責任者：理事長 中村 猛
 編集：季刊誌発行委員会

謹賀新年

新しい年が一層お幸せでありますようお祈りいたします
 2010年 寅



医療法人 みどり会
 社会福祉法人 松樹会
 理事長 中村 猛



中村病院
 院長代理 高橋 輝



中村記念病院
 院長 大川直澄



なごみの里
 施設長 高橋輝子



いこいの里
 施設長 中村敏子

新春号御挨拶

理事長 中村 猛

新年明けましておめでとうございます。
 御家族ともども健やかで明るい新年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年はわが国の戦後最大といわれる政権交代が行なわれ政策実行の中味が国民に情報開示のもと知らされ政（まつりごと）を作り行なう仕組みが国益にあうように国民のための政策実行へと刷新が進んでおります。

言うは易く、行なうは難くその道は開かれたばかりですが良き方向の道筋を進み確立していくにも、まず我々国民一人ひとりの自覚と努力が必要なことは申すまでもありません。

新しい年を夢ある希望と未来にひらかれた目標をもってスタートしたいものです。

又、昨年5月からの新型インフルエンザ流行は長期間の蔓延でワクチン接種を含めた感染症対策の難しさを露呈しております。

背景に地球温暖化、環境汚染の要因を考えるとこの自然環境を守るため、エネルギー消費の産業革命が必要で、今まさにスタートしていると思われま

す。今年は長年続いた医療費削減で医療崩壊が叫ばれるなか、診療報酬改定で、医療・福祉の充実化の見直し増額予算が考えられております。

私ども法人スタッフは本年も地域の方々へ医療・福祉を通じてより良いサービスの提供に職場改善とスタッフ一人ひとりの社会貢献の努力を怠らず積み上げてまいりたいと思っております。

良き職場は一人ひとりの自覚と努力、又、より良い職場づくりへ全体のチームワークの高揚に努めてまいりたいと思っております。

本年も相変わりませず、温かい御厚情御支援の程をよろしくお願い申し上げます。



地域に求められる病院を目指して

院長代理 高橋 輝

平素より当院への御高配を賜り御礼申し上げます。一言
新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は日本病院機能評価の更新審査があり、無事認定を
受けることができました。この審査を通じて、病院として
責務すべき医療安全体制や、充実した医療を提供するために
必要な職員教育、病院組織の統率などを再点検することが
できました。年度ごとに作成している事業計画では、各部門
での業務管理体制の確立を掲げ、自らの仕事を自己評価する
ことにより、業務改善や個々のレベルアップを図り、病院
としての機能向上に取り組んでおります。医療の機能分担を
図るため病診連携の取り組みが行われていますが、その

1つとして、枚方市を中心に北河内地域で糖尿病地域連携
パスの運用が今年中に開始される予定となっております。
当院は枚方市に4つしかない日本糖尿病学会認定教育施設で
あり、糖尿病地域連携パスの受け入れ病院としての役割を
求められております。このような専門的医療だけでなく、
関連施設との連携を活かして、大病院にはできないきめ細やか
な全人的な医療・福祉を提供することが当院の役割と考えて
おります。

この地域に「中村病院があつてよかった」と皆様に思っ
て頂けるよう、日々努力して参りますので、本年も変わらぬ
御愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

「病院機能評価」Ver.5.0の更新認定証交付される

機能評価受審準備推進事務局 野村 恵章

医療法人みどり会中村病院は、財団法人日本病院機能評価機構の「病院機能評価」
Ver.5.0の認定基準を達成して、平成21年11月に認定証が交付されました。平成16年
12月に「病院機能評価」Ver.4.0の認定を受け、5年間に中村病院が地域医療の現場
で、ニーズに対応した病院運営と医療の質の向上に取り組んだ実績が更新認定の大きな
基盤となりました。

中村病院の基本理念「温かい思いやりのある質の高い医療」および、基本方針等を
適切に実行し、私共職員一同は、この2回目の更新認定を契機に、今後も「地域の
皆様に求められる医療・福祉」を提供する中核的な「かかりつけ病院」としての役割を
果たすよう取り組んで参ります。



在宅部門

新天地へダッシュ

訪問介護ステーションみどり 所長 小山 康子

あけましておめでとうございます。
本年の意気込みは、パワー全開です・・・かな？

- 一、 思いやりの精神。
- 一、 傍観者にならない。
- 一、 何事にもスピーディに。
- 一、 今日の事は、今日のうちに。

以上の事を心に刻み、訪問介護職員としての誇りを胸に
前進・前進あるのみ！！

健康第一で、訪問介護員一丸となって頑張ってもらいます
ので、昨年同様本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

『寅年』の初めに思うこと

ケアプランセンターなごみ 管理者 佐藤 嘉枝

新しい1年が始まりました。

皆様は、どのようなお正月を過ごされましたでしょうか。

新年を迎えるに当たって、毎年「今年こそは！」と思うことが
たくさんあります。例えば、「きれいな桜を見に行こう」
「秘境の温泉で雪景色を」「いやいや、取り敢えずは毎日
笑顔で過せるよう」など・・・

皆様も何か1年の目標を考えてみませんか？

その実現に、私たちも一緒に取り組ませていただければ、
とても嬉しいことです。

今年は『寅年』ですが、「虎は子を思つて千里を渡る」と
いう諺もあるように、意外にも子供思ひの動物だそうです。

虎にあやかって、私達は今年も「利用者様を思つて千里を
走り」たいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願い
いたします。

包括支援センター

「地域での包括体制を構築する」

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 米澤 恵美子

地域包括支援センターは、2006年4月に高齢者が住み
なれた地域で、安心して生活ができるよう支援をすることを
目的に、枚方市では設置・運営を民間法人へ委託し、当初は
市内7箇所で始まりました。

当包括支援センターみどりもこの年から委託事業を受け、
活動してきた。2015年に人口の4人に1人が高齢者になると
見込まれており、本市でも高齢者は増加しております。

2009年4月『第4次枚方市総合計画』の『ひらかた高齢者
保健福祉計画21』にのっとり、地域包括支援センターは、

市内13箇所に増設され、担当地域を狭くすることでより地域
密着を目指し、介護保険利用のみならず、虐待や認知症・精神
疾患・経済的な困窮問題など困難な相談援助等を職員が迅速に
対応しております。

今後、地域住民の方々が、より安心して住みなれた町で
暮らし続けていけるよう地域の住人や民生委員・医療機関・
介護事業所などの包括的な関係作りを職員一体となり強化して
まいりますので、本年もよろしくお願い致します。

「山歩きに通ず ～ 開院 5 年目を迎えて ～」

院 長 大 川 直 澄



赤岳山頂にて

新年あけましておめでとうございます。皆様方にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

中村記念病院は回復期リハビリテーション病院として平成18年4月に開設され、ここ長尾播磨谷の地で4度目の正月を迎えました。

今、リハビリ室から静かな外の景色を眺めながら、瞬く間に過ぎ去った4年を振り返っております。

これまでに退院された多くの患者様が現在どのようにお過ごしなのかを思いつつ、当院で行われたリハビリが効果的に作用し元気に日常生活を営まれておられることを祈っております。

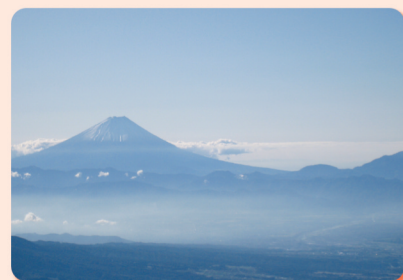
私は山歩きを趣味とし、時間をみつければ近くから遠くまで、多くの山々に挑み踏破してまいりました。決して楽な趣味ではありませんが、達成感は何事にも変えがたいものがあります。少し意味合いは違いますが、当院に入院されリハビリを終えた

患者様が希望を持って元気に退院されるのをお見送りさせていただくときの充実感に通じるものがあると感じております。

その患者様が、ご家庭に戻られる日を指折り数えながら、一生懸命リハビリに取り組んでおられる姿は、私も医師・リハ・看護師等職員には大きな励みとなり新たな力が湧いてまいります。

これからも、医師や療法士はもちろんのこと、看護師、介護士、薬剤師、管理栄養士、医療社会福祉士、医事課など全ての職員が患者様の気持ちになって接することを心がけ、患者様に信頼され質の高い医療サービスが提供できる病院として認めていただけるように、そして、早期の在宅復帰と退院後の生きがいのある生活を患者様に送っていただけるよう努力を続けてまいります。

引き続き、皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。



赤岳より富士を眺める

「上海・廣東の学校教員一行が中村記念病院を視察」



本院に勤務するリハ職員の出身校でもある学校法人大阪滋慶学園のご案内で、中国の上海医療器械高等専科学校及び廣東医学院より教員一行6名の皆様が平成21年11月17日に本院を訪れ、リハビリテーション病院の現場を視察されました。

回復期リハビリテーション病院の視察は初めてとのことで、大川院長の説明に真剣な眼差しで聞き入り、リハビリ現場、リハビリ器具などを興味深く熱心に視察されました。

(記：事務長 田村 正 博)

介護老人保健施設 なごみの里

年 頭 で 挨 拶

施設長 高 橋 輝 子

新年にあたり一言御挨拶申し上げます。昨年9月より施設長としてなごみの里及びサテライトなごみの里を担当させて頂いております。新設されたサテライトなごみの里は、全室個室でリハビリテーションを強化し、在宅復帰機能を充実させた施設として大阪府下で初めて開設されました。本体とサテライト併せて179名の入所施設となります。ご高齢の方々が抱える問題は多岐にわたり、それに伴って私たちに要求されるニーズも多様化しております。サテライトの新設

により、強化したリハビリテーションや在宅に近い生活環境である個室サービスを提供できる体制も加わり、皆様の多様なご要望にお応えできる施設運用を目指して、スタッフ一同業務改善に取り組んでおります。老人保健施設での医療提供には限界がありますが、中村病院との連携を密にして、皆様のニーズに合った医療・福祉サービスをご提供できるよう、今後とも努力して参ります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

退所後の安定した在宅生活の支援強化と充実

サテライトなごみの里 副管理者 服 部 澄 子

あけましておめでとうございます。

ご利用者が穏やかに新春を迎えられる事ができましたのも、ご家族や関係機関のご指導と温かいご支援の賜物と職員一同心より御礼申し上げます。

開設時よりサテライトは、在宅復帰支援バスと、毎日の個別リハビリの実施で目標も達成できました。

今年は「退所後の安定した在宅生活の支援強化と充実」をテーマにご家族や居宅ケアマネジャーや地域と連携強化を図ります。特に認知症等でご苦労をされているご家族には、私達にできる支援方法は無いのだろうか？と心を痛めており

ました。ご利用者の退所日が近づくと療法士等がご自宅訪問して住宅改修や福祉用具のアドバイスをしますが、ご家族が安全で安楽な介護、認知症による周辺症状の具体的な対応方法を習得いただくことも必要だと痛感しています。ご家族の抱える苦しみや悩みを共有し助け合うことが、お互いの信頼感を深め、より良い関係が構築されると信じます。サテライトのリビングでも自然に、ご利用者と職員がゲームやカラオケを一緒に興じたり、オヤツ作りに励んだり・・・笑顔があふれ笑い声がいつも聞こえる明るい施設作りを目指しますので、よろしくお願い致します。